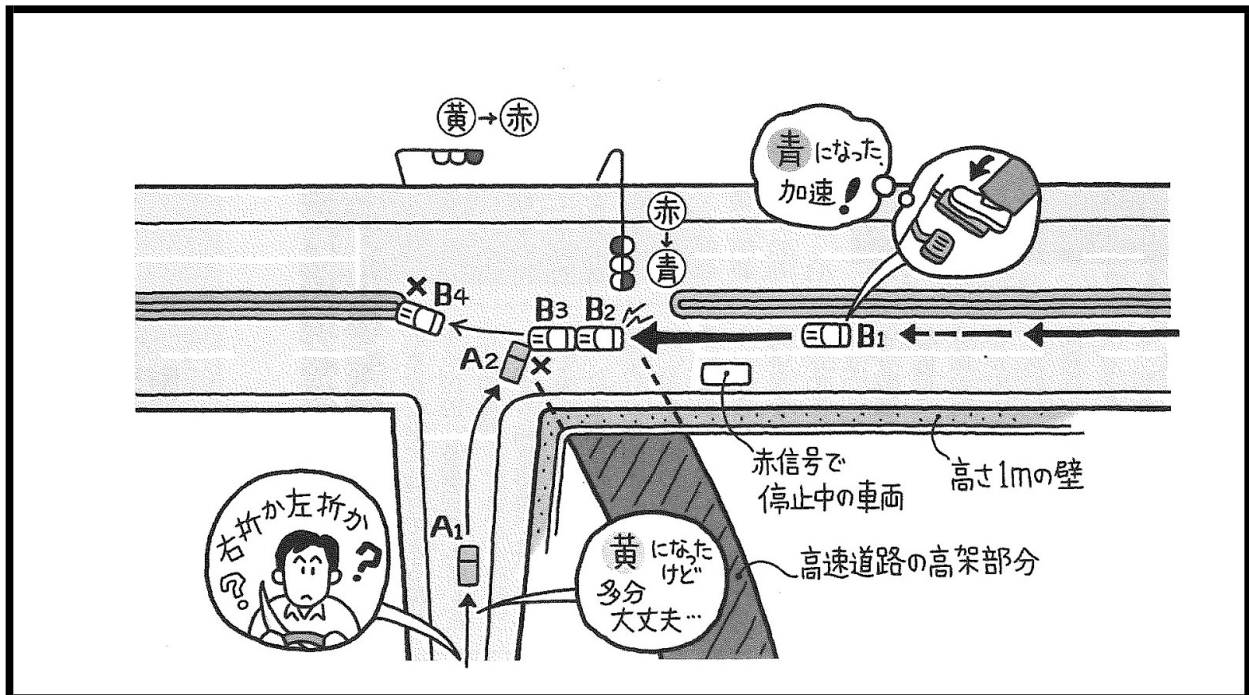


■ 事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：12月 夜

当事者A：軽乗用車 20歳代 男性

当事者B：普通乗用車 40歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、年末の帰省渋滞に巻き込まれてしまい、そのため下りたことのないインターチェンジで高速道路を出て、一般道路へつながる信号機のある丁字路交差点に差しかかりました。どちらに曲がるか迷いながら運転していたところ、信号が黄色に変わりましたがたぶん大丈夫だろうと思い交差点に進入しました。そのときすでに信号は赤に変わっており、交差道路右方から青色信号に従って進行してきたB車と出会い頭に衝突してしまいました。

Bは、法定速度の時速60kmを超えた時速約80kmで走行中、前方の丁字路交差点の信号が赤であることを確認し、一旦減速しましたが青信号に変わったので、加速しつつ交差点に進入しました。その時左方から進行してきたA車を発見し、急ブレーキをかけ、右にハンドルを切りましたが間に合わず衝突。さらに交差点先の中央分離帯端部にぶつかっていました。

■ 事故から学ぶ

Aがどちらに曲がるか迷いながら運転していたことで注意が散漫になっていたうえに、黄信号で交差点に進入したことが事故の主な原因ですが、Bの赤信号から青信号への変わり際での加速行為は、交差点周辺の状況判断や交差車両の動静への注意不足を起こしやすくなり、このことも事故要因となっていたでしょう。

一方が注意することで、事故は防げます。どちらかがちょっと注意し、減速するか、信号で止まるか、を実行することで事故は防げるのです。